

リハビリテーション科 ラダー

ラダー	目標値	役割・到達目標	実践目標	経験年数
ラダーⅥ	院内外において、専門知識を活かした指導、広報が行える。	院内等委員会の長を務めることができる。 他部署職員への指導ができる。 専門分野において外部講師を務めるなど、法人の広報が出来る。	外部講師	10年～
ラダーⅤ	リハビリテーション科職員のスキルアップのための指導が出来る。	積極的な自己の学会発表、リハビリテーション科職員の学会発表指導ができる。 他部署と建設的な交渉が出来る。 チームの管理運営が出来る。 地域支援事業にかかわる職員の指導が出来る。	学会発表(専門分野) 地域支援事業	8～9年
ラダーⅣ	チームのマネジメントが出来る 学生の臨床実習指導(マネジメント)が出来る	リーダーとして各課をとりまとめ、主任を補佐出来る。 学生や後輩に対し高いレベル(CCS)の指導が出来る。 地域支援事業に参加出来る。	臨床実習指導者 学会発表(全国レベル)	6～7年
ラダーⅢ	新人への臨床指導が出来る 指導の下、学生への臨床指導が出来る 委員会業務が出来る	担当する病棟での多職種との連携を図り、その情報から最善のリハビリテーション及び退院支援を提案し実践出来る。 他部署、ケアマネ等との調整が適切に行える。	ローテーション異動 臨床実習指導者 学会発表(県内)	4～5年
ラダーⅡ	自立して臨床実践が出来る 新職員への業務指導が行える 係の業務が出来る	予後を想定したリハビリテーションを単独で実践出来る。(在宅復帰の視点での機能と環境の把握とそれに合わせた治療が実践出来る) 担当患者の職種間協議、上司への報告が適切に行える。	県士会新人発表	2～3年
ラダーⅠ	指導監督のもとに臨床実践が出来る	多少の助言・介入があれば基本的なリハビリテーションに必要な業務の実践ができ、自ら先輩に報告・相談が出来る。	院内症例発表	1年